

平成29年度 裾花幼稚園「自己評価および学校(園)関係者評価」

1. 裾花幼稚園の教育目標

～かしこく・つよく・あたたかく～

いっぱい遊んで・元気に挑戦

～ 心が動く子の育くむ～

2. 本年度の重点目標

あそびを広げたり 深めたりできる子ども

- ・ふんだんでダイナミックなあそび ・・異年齢の子との関わりにより 模倣力・思考力・集中力を育む
- ・実体験活動・園外保育の充実・「観て・触れて・食べなどなど」実体験で様々な感覚を育む
- ・感性豊かに・・自己肯定感を育み 何事にも挑戦する子どもを育む

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・園で過ごす中で魅力は「元気いっぱいあそぶ」「園外保育が多い」「実体験の充実」という所だと入園すると実感する。日頃実感している。子どもの成長が嬉しく感じているし園に感謝している。
- ・先生方が一人ひとりを尊重して見守り保育にあたってくれるため また一人ひとりがチームワークよくがかかっていることが伝わってくる。安心して預けることができる。
- ・園舎が古い分 温かさとアットホームさを感じる。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園目標に向かっていく日頃の保育については ほぼ保護者の方にご理解を頂いているからこそ 充実した園外活動ができると感謝している。
- ・保護者の方も働いている方が増えてきている PTA活動を簡素化して 負担軽減を更にしていきたい。
- ・今年度も外部のプロ選手(サッカー・バスケ)谷口國博先生(たにぞうさん)福田翔さん等を迎え子どもたちにとって 本物に触れる機会を多くしてきた それが経験となり蓄積されてきている。今後も継続していきたい。